

■ 会社情報／株式情報

会社概要（2020年8月31日現在）

商号	株式会社SHIFT
代表者	代表取締役社長 丹 下 大
本社	〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル TEL:03-6809-1165
設立	2005年9月
資本金	63百万円
事業内容	ソフトウェアテストを中心とするソフトウェアの品質保証サービス全般
取得特許	特許第5787404号 コンピュータプログラムのテスト仕様を生成するための装置およびプログラム 他4件

役員（2020年11月25日現在）

代表取締役社長	丹 下 大
取締役副社長	佐々木 道夫
取締役	小林 元也
取締役	村上 誠典
取締役	元谷 英美子
取締役 監査等委員	三 浦 進
取締役 監査等委員	知 識 賢 治
取締役 監査等委員	中 垣 徹 二 郎

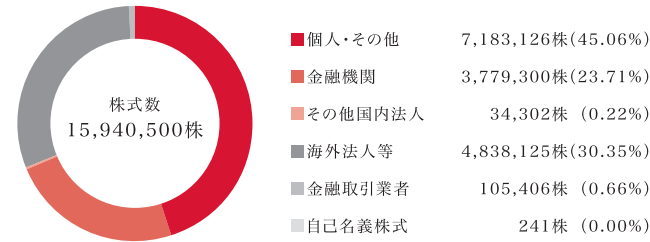
(注)村上誠典、元谷英美子、三浦進、知識賢治及び中垣徹二郎は、社外取締役であります。

株式の状況（2020年8月31日現在）

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	15,940,500株
株主数	3,656名
上位10名の株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
丹下 大	5,781,800	36.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,619,900	10.16
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,225,400	7.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	746,600	4.68
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	707,280	4.44
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	347,000	2.18
MSIP CLIENT SECURITIES	252,600	1.58
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON TREATY ACCOUNT 15.315 PCT	217,000	1.36
DRAPER NEXUS TECHNOLOGY PARTNERS, LP	168,200	1.06
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	164,500	1.03

株式分布の状況



新たな中期成長戦略
「SHIFT 1000」始動！
コロナ禍で「ピンチ」と
言われる状況から
つくり出したチャンスと成長

ここがポイント！
・10年連続の15倍成長！
さらに先を見据え、
推し進める改革とは
意思決定
・コロナ禍で見えたSHIFTの
スピード、企業規模は大きく
なりつつも残る、迅速な
意思決定
・新たなフェーズへ向かう
SHIFTを支え、リードする
ガバナンス体制

困難もチャンスととらえ
SHIFTの成長がつくる、よりよい社会環境を目指して

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、感染拡大の収束にご尽力されている皆様に、深く感謝申し上げます。
ここに、当社2020年8月期(2019年9月1日～2020年8月31日)のビジネスレポートをお届けいたします。



2020年8月期を振り返って

中期成長戦略「SHIFT300」の最終年度の今期は、新たに4社をSHIFTグループに迎え、サービス領域の深耕拡大を推進してまいりました。キャッシュレス決済の拡大、5Gの普及、DXなど業界トレンドを掴みながら、それぞれの市場での事業拡大へ向け、営業力、人材採用力、人事施策の強化に注力してまいりました。
一方で、今年は世界中が新型コロナウイルス感染拡大に多大なる打撃を受け、大きな制約を課せられております。そのようななかで、SHIFTグループは、企業成長を引き続き積極的に推進することにより、従業員とご家族の安心、安全の確保、お客様の事業成長への貢献を目指してまいりました。
コロナ禍のなかで、お客様との対話数は約3倍増、マスメディアへの露出増加、従業員満足度の向上、月間求人応募者2,604名という新記録の更新など、コロナ禍での「攻め」と「守り」の成果をあげ、結果として、10期連続での売上高1.5倍成長を継続し、2020年8月期を終えることができました。

2021年8月期の取り組み

売上高1,000億円へ向けた新たな成長戦略「SHIFT1000」を始動する2021年8月期は、

- ①アカウント／営業
- ②人事／採用
- ③サービス／技術
- ④M&A／PMI*

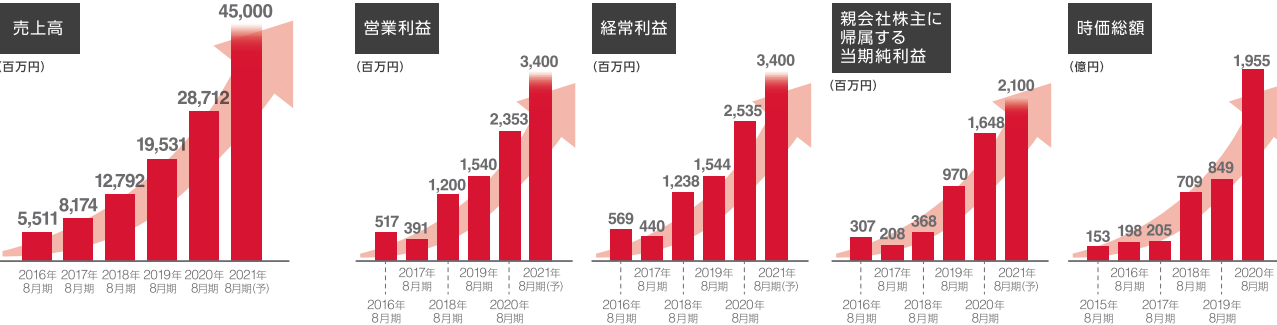
の4つの領域における戦略的強化を推進してまいります。
SHIFTグループとして新たなフェーズへの進化へ向け、事業成長とガバナンス体制強化を促進し、さらに盤石な組織形成を進めてまいる所存でございます。
株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※PMI: Post Merger Integrationの略。M&A後にグループとしてのシナジー創出を最大化するため、企業風土のすり合わせから業務フローの統合まで、グループとしての連携を強める工程のこと。

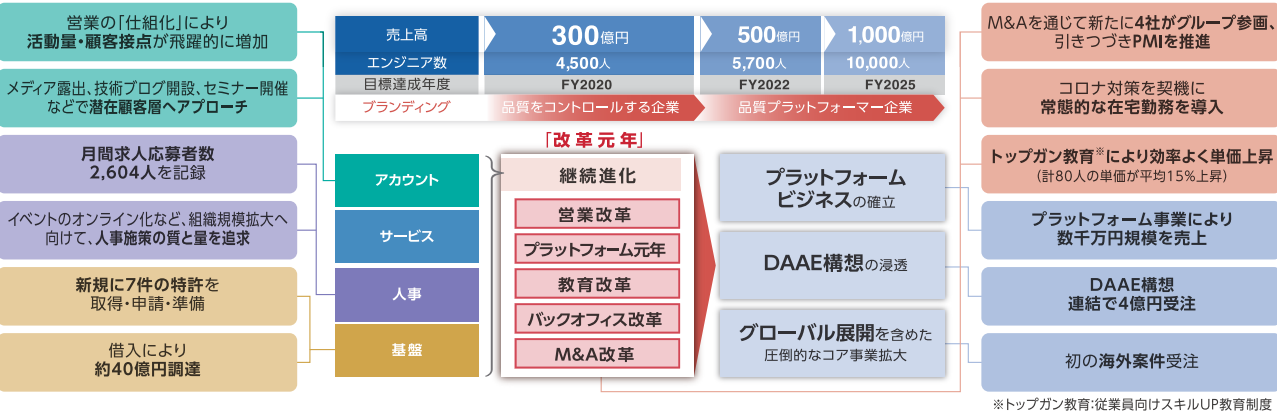
代表取締役社長 丹下 大

ソフトウェアの品質保証事業を開始以来、10期連続で売上高1.5倍成長を継続

中期成長戦略「SHIFT300」を締めくくるFY2020は、売上高1,000億円を目指す通過点として営業組織の強化に本格的に着手、営業活動の「質」「量」とともに変化が現れはじめました。また、SHIFTグループのサービス範囲の拡大と、シナジー効果により、コロナ禍にありながら、10期連続で順調に成長いたしました。



■ 決算のポイント 「改革元年」として、これからの成長へ向けた基盤となる重点要素の徹底強化を推進し、それぞれにおいて将来につなぐ成果が見えはじめました。



■ 2021年8月期の連結業績予想 売上高1,000億円へつづく通過点として、着実な成長を積み重ねてまいります。

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比
第2四半期累計	20,000	55.9%	1,200	△3.4%	1,200	△5.7%	700	△7.2%
通期	45,000	56.7%	3,400	44.5%	3,400	34.1%	2,100	27.4%

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

新型コロナウイルスへの対策を機に、会社のあり方を変革
「働き方改革」「新サービス確立」「人材採用加速」により、さらに強い企業へ

2020年4月7日に発令された「緊急事態宣言」の2ヶ月半前から、SHIFTにおけるコロナ対策ははじまりました。

1 メディア露出

▶ 認知度向上と信頼感醸成

新聞、TV、Webなど
マスメディアへの露出

85件

販管費

▶ コロナへの対応に販管費を活用

危険手当	販管費	在宅環境	原価+販管費
	+8,578万円		+6,113万円

※4～8月合計

▶ 他販管費を徹底的に見直し

見直し	販管費	交通費削減	原価+販管費
	-9,327万円		-9,775万円

※4～8月合計

M&A加速

▶ 市況感からM&A案件を徹底的に確保

M&A 案件数	売上高20億円以上規模の対象企業検討数
	FY2020上期→FY2020下期 1.4倍

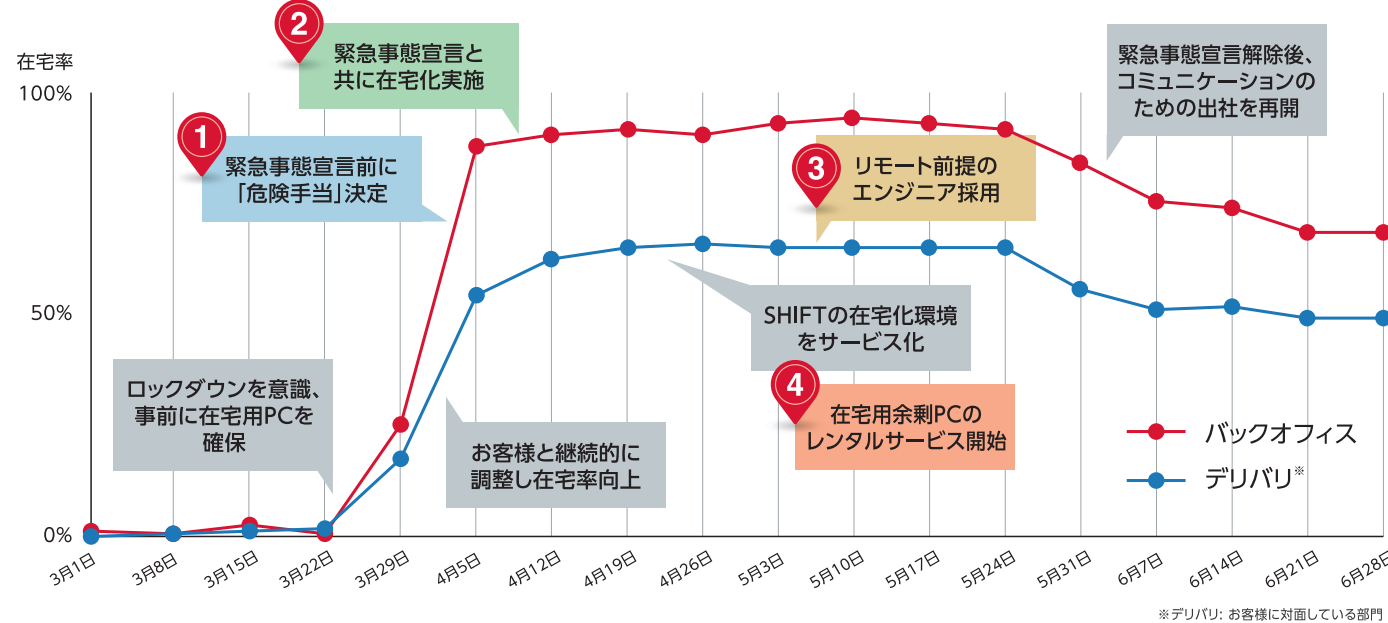
社内イベントをリアルからオンラインへ



▶ コロナ禍でもコミュニケーションの質と量を追求

ライブ配信でのコスト	オンラインでの参加者満足度
コスト1/20	88% → 97%

SHIFTにおける在宅率推移



2 在宅化の推進

▶ 緊急事態宣言後、1週間で在宅化を徹底推進

在宅率	最大	デリバリ	バックオフィス
		71% 1,358人	92% 213人
	定常	50%	70%

3 採用の加速

▶ コロナ禍だからこそ人材を積極的に採用

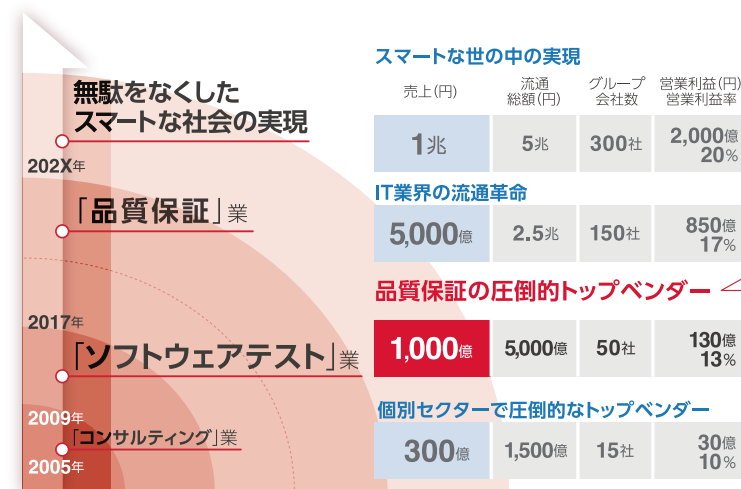
応募者数 (月間最大)	上期	下期
	2,225人	2,604人

4 サービス増加

▶ 新たなサービスを次々リリースして売上拡大

PCレンタル	PC販売	広告サービス	経営コンサル
+9,583万円 (FY2020 4Q)	+2,498万円 (2020年8月～)	3件受注 (期間:1ヶ月)	+1,000万円 (4日間)

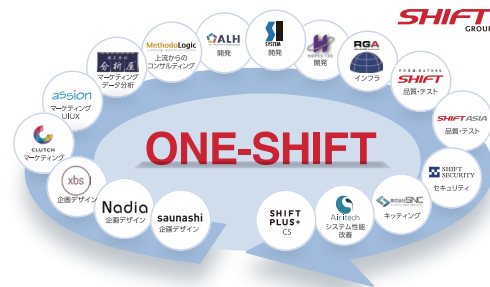
「無駄をなくしたスマートな社会の実現」に向けて、常に自己変革に挑戦しつづけます。



売上高5,000億円、1兆円へとつづく1,000億円規模のグループ企業へ。
成長基盤の強化を意識した、“四隅戦略”

I	アカウント／営業	II	人事／採用	III	サービス／技術	IV	M&A／PMI
8,000社の顧客網の構築		80万人が集まる人材データベースの構築		IT業界の構造変化に合わせた事業ポートフォリオ		IT業界における科学されたM&A	
活動の「質」「量」ともに強化が進むSHIFTの営業組織。 多面的な顧客戦略と、継続的な活動強化により、「圧勝」する組織へ。		他社にない戦略で、応募数、採用数ともに記録更新をつづけるなか、新たな取り組みとして国内のエンジニア情報を集約、ミスマッチのないより効率的で、効果的な人事／採用戦略を展開。		古い基幹システムの刷新や、新たな技術の台頭など、目まぐるしい変化に対応を迫られるIT業界や関連企業様に必要なサービス、技術を提供、変化をリードする事業ポートフォリオを構築。		SHIFTグループに参画することで、より成長を加速できることを証明。その認知が広がりつつあるなか、グループに必要な技術をもちシナジー効果を最大化する企業の効率的な参画を積極推進。	

「品質」を起点にサービスを展開
それが、SHIFTグループの強さです



FY2020には、新たに4社がSHIFTグループに加わり、また「ONE-SHIFT」として提供できるサービス領域が拡大しました。目指す未来は、まだまだつづきますが、着実に1歩ずつ進んでまいります。

さらに成長スピードを加速させるSHIFTグループ

さらなる高みへ向かうFY2021より、新たな社外取締役として村上 誠典氏、元谷 芙美子氏を迎えることとなりました。また、2年間社外取締役としてSHIFTの成長を力強く支援くださった佐々木 道夫氏を副社長にお迎えし、成長を加速しつつ、盤石な企業体制の構築を推進してまいります。



取締役副社長
佐々木 道夫
株式会社キーエンス
元代表取締役社長

SHIFTの成長、 発展を加速するために

前職でソフトの品質管理の重要性は認識していましたが、SHIFTでさらにソフト検証、品質管理の重要度を強く感じ、デジタル・トランスフォーメーション(DX)を含む市場の拡大にも予想以上のインパクトを感じました。会社が大きく成長するために最も重要なことは『企業文化』だと思います。高い目標にチームワークでチャレンジ、顧客満足度を高めて売上拡大、従業員の満足度を高めて会社の成長。その企業文化のあるSHIFTで前職での経験を活かして成長を加速できるよう貢献する所存でございます。

プロフィール

明治大学政治経済学部卒業。1982年リード電気株式会社（現：株式会社キーンズ）に入社。1992年にはKS事業部長、1999年には取締役APSULT事業部長を経て2000年には、同社代表取締役社長に就任。在任中は国内外の業績を拡大した。



社外取締役
村上 誠典
シニフィアン株式会社
共同代表

ステークホルダーの 価値最大化を目指し対話を

SHIFTが社会に持続的に価値を提供しつつ
づけるには、多様なステークホルダーにとつ
ての価値を最大化しつつける必要があります。
これは決して簡単なことではなく、高い
倫理観と高度な経営判断が重要になって
くると考えています。社外取締役は、選任し
た株主のみならずすべてのステークホル
ダーに影響を与える責務だと考えていま
す。資本市場を含むステークホルダーとの
対話を重視し、コーポレート・ファイナンス
の視点で資産配分を監督し、ステークホル
ダーの価値最大化を目指してまいります。

プロフィール

ゴールドマン・サックスにてM&A、資金調達、IRの専門家としてグローバル企業のコーポレート・アクション、転換を数多く経験。現在は急成長するテクノロジー企業の経営に、投資家、取締役、アドバイザーなどの立場で関与し、成長を推進。



社外取締役
元谷 芙美子
アパホテル株式会社
代表取締役社長
アパホールディングス株式会社
取締役

異業種の視点、女性の視点から、
SHIFTに新しい風を

私はホテルというまったく異なる分野で、経営者として長年にわたって組織を率いてきました。「ピンチをチャンスに!」を合言葉に、困難なことにもしっかりと向き、全力で取り組むことで、会社は飛躍的な成長を遂げることができました。この度、SHIFTのような勢いのある会社の経営に参画することになり、大変嬉しく思います。経営においても多様性が求められる時代、異業種の視点、女性の視点から、SHIFTの経営に新しい風を吹き込み、さらなる成長を後押ししていきたいと思っています。

プロフィール

信金開発株式会社(現アパ株式会社)取締役を経て、1994年にアパホテル株式会社取締役社長に就任。会員制やネット予約システムを導入、全国規模のホテルチェーンへと成長させる。現在、アパグループ11社の取締役、東京国際大学客員教授、日韓文化協会顧問も務める。



**M&A
強化**

社外取締役 監査等委員 **中垣 徹二郎**
DNX Ventures パートナー



人材確保力強化

社外取締役 監査等委員 知識 賢治
日本交通株式会社 元代表取締役社長